

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/001605

International filing date: 03 February 2005 (03.02.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-030981
Filing date: 06 February 2004 (06.02.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 21 April 2005 (21.04.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 4 年 2 月 6 日

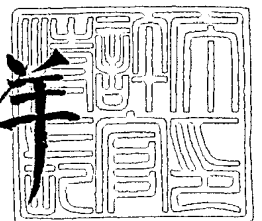
出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 4 - 0 3 0 9 8 1
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 4 - 0 3 0 9 8 1]

出 願 人
Applicant(s): 住友電気工業株式会社

2 0 0 5 年 2 月 1 5 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川 洋



【書類名】 特許願
【整理番号】 104H0001
【提出日】 平成16年 2月 6日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 H01Q 15/00
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪市此花区島屋一丁目1番3号 住友電気工業株式会社大阪製作所内
 【氏名】 黒田 昌利
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪市此花区島屋一丁目1番3号 住友電気工業株式会社大阪製作所内
 【氏名】 横田 政夫
【特許出願人】
 【識別番号】 000002130
 【氏名又は名称】 住友電気工業株式会社
 【代表者】 岡山 紀男
【代理人】
 【識別番号】 100074206
 【住所又は居所】 大阪府大阪市中心区日本橋1丁目18番12号 鎌田特許事務所
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 鎌田 文二
 【電話番号】 06-6631-0021
【選任した代理人】
 【識別番号】 100084858
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 東尾 正博
【選任した代理人】
 【識別番号】 100087538
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 鳥居 和久
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 009025
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9715601

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

アンテナ取り付け治具と、半球状のルーネベルグレンズと組み合わせたアンテナ装置の電波の反射板を前記アンテナ取り付け治具に着脱自在に取り付ける取り付け手段とを備え、前記反射板と前記アンテナ取り付け治具に前記取り付け手段による取り付け部が予め設けられ、前記アンテナ取り付け治具をアンテナ設置部に取り付け、このアンテナ取り付け治具に前記取り付け手段で前記反射板を取り付けるようにしたルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 2】

ボルト又はボルト・ナットで前記反射板又はこの反射板の裏面に設けたアタッチメントを前記アンテナ取り付け治具に固定するようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 3】

前記反射板又はその反射板の裏面に設けたアタッチメントと前記アンテナ取り付け治具に、フックとフック掛けを対応して設け、そのフックとフック掛けで前記反射板をアンテナ取り付け治具に吊り掛けるようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 4】

前記反射板又はその反射板の裏面に設けたアタッチメントと前記アンテナ取り付け治具に、プラグとソケットを対応して設け、前記ソケットに前記プラグを挿入して前記反射板をアンテナ取り付け治具に取り付けるようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 5】

前記アンテナ取り付け治具に係合用の溝を設け、この溝に前記反射板又はこの反射板の裏面に設けたアタッチメントの両側縁に係合させて前記反射板を前記アンテナ取り付け治具で支持するようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 6】

前記反射板とアンテナ取り付け治具に、ピン穴を有する連結具を対応させて設け、この連結具をピンで連結して前記反射板を前記アンテナ取り付け治具に取り付けるようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 7】

前記反射板の裏面と前記アンテナ取り付け治具に、バンドとバンド掛けを対応して設け、前記バンドをバンド掛けに掛けて前記反射板を前記アンテナ取り付け治具に取り付けるようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【請求項 8】

前記アンテナ取り付け治具に起立したポールを設け、前記反射板の裏面に設けたアタッチメントとボルトで締め付ける押さえ金具とで前記ポールを挟みつけて前記反射板を前記アンテナ取り付け治具に取り付けるようにした請求項 1 に記載のルーネベルグレンズアンテナ装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】ルーネベルグレンズアンテナ装置

【技術分野】

【0001】

この発明は、設置の容易化を図ったルーネベルグレンズアンテナ装置に関する。

【背景技術】

【0002】

複数の静止衛星との間で電波の送受信を行えるアンテナ装置として、ルーネベルグレンズアンテナ装置が脚光を浴びだしている。このルーネベルグレンズアンテナ装置の中に、コンパクト化を目的として、半球状のルーネベルグレンズと電波を反射させる反射板とを組み合わせる球状レンズを使用したものと等価な機能を確保したものがある。

【0003】

反射板を有するそのルーネベルグレンズアンテナ装置の設置方法として、本出願人は、反射板を直接アンテナ設置部にねじ止めしたり、吊りかけたりして直接壁面等に取り付ける方法を考えて下記特許文献1に示している。

【0004】

ところで、従来、衛星放送の受信に利用されているパラボラアンテナは、仮止め後、反射板自体を動かし、受信調整が必要である。従って、受信調整において方位調整のためにポールに取り付けているが、反射板の形状が凹型のため、壁面や柵に沿った平面で安定して支持することができない。

【0005】

これに対し、反射板を有するルーネベルグレンズアンテナ装置は、一次放射器を保持するアームの角度やアーム上での一次放射器の位置を調整して一次放射器を電波の収束点に位置決めでき、反射板の向きは微調整する必要がない。従って、反射板を壁面などの広い面にきっちりと沿わせて安定して固定することができる。

【0006】

ところが、このルーネベルグレンズアンテナ装置は、上記特許文献1に示した設置方法などでは、簡単に設置できないことがある。

【0007】

ねじ止め用のアンカーやフック掛けなどを例えば壁面に取り付ける場合、アンカーやフック掛けの取り付け位置を設定するときに重量のあるアンテナ装置を補助者が支えていわゆる現物合わせで取り付け位置のマーキングを行う必要があり、また、取り付け後のアンカーにねじをねじ込んで反射板を最終的に固定するときにも何本かのねじを締め終えるまで補助者がアンテナ装置を支えておく必要がある。さらに、アンカーなどの取り付け位置がずれて位置修正を強いられることもあり、作業性が悪くて設置に手間取る。

【特許文献1】PCT/JPO2/09179号

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

この発明は、反射板を有するルーネベルグレンズアンテナ装置を簡単に設置できるようにすることを課題としている。

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記の課題を解決するため、この発明においては、アンテナ取り付け治具と、半球状のルーネベルグレンズと組み合わせたアンテナ装置の電波の反射板を前記アンテナ取り付け治具に着脱自在に取り付ける取り付け手段とを備え、前記反射板と前記アンテナ取り付け治具に前記取り付け手段による取り付け部が予め設けられ、前記アンテナ取り付け治具をアンテナ設置部に取り付け、このアンテナ取り付け治具に前記取り付け手段で前記反射板を取り付けるようにしたルーネベルグレンズアンテナ装置を提供する。

【0010】

反射板を前記アンテナ取り付け治具に着脱自在に取り付けるための取り付け手段は、ボルトとそれをねじ込むねじ穴、貫通穴とその穴に通すボルトと締め付け用のナット、フックとフック掛け、プラグとソケット、係合用の溝とその溝に係合させる部材、ピンとそのピンで連結する連結具、バンドとバンド掛け、ポールとそのポールを挟み付ける部材など種々のものを使用できる。

【発明の効果】

【0011】

この発明のルーネベルグレンズアンテナ装置は、アンテナ装置から独立させたアンテナ取り付け治具をアンテナ設置部に取り付け、その後、取り付け手段を使用してアンテナ取り付け治具にアンテナ装置を取り付ける。

【0012】

アンテナ取り付け治具の取り付けは、アンテナ装置を外してあるので楽に行える。また、アンテナ取り付け治具に対するアンテナ装置の取り付けは、反射板とアンテナ取り付け治具に取り付け手段による取り付け部が予め設けられているので、位置修正などを行わずに取り付けることができ、ルーネベルグレンズアンテナ装置の設置が従来に比べて簡単になる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

この発明のルーネベルグレンズアンテナ装置の実施の形態を、添付図面に基づいて説明する。図1のルーネベルグレンズアンテナ装置は、アンテナ装置1と、アンテナ取り付け治具2と、アンテナ装置1をアンテナ取り付け治具2に取り付けるためのボルト（取り付け手段）3とで構成されている。

【0014】

アンテナ装置1は、半球状のルーネベルグレンズ1aと電波反射用の反射板1bを組み合わせてなる。このアンテナ装置1には、ルーネベルグレンズ1aの表面に被せる保護カバーと、電波を受・発信する一次放射器（LNB：低ノイズブロックコンバーター）と、その一次放射器を方位角調整可能に保持する仰角調整の可能なアームが含まれているが、図はこれらを省略したものにしている。

【0015】

反射板1bの裏面には、アンテナ取り付け治具2の前面に沿わせるアタッチメント4を取り付けている。

【0016】

アンテナ取り付け治具2は、アンテナ設置部に対する取り付け具5を備えている。図示の取り付け具5は、アンテナ取り付け治具2の裏面に植設したボルト5aに押さえ金具5bを嵌め、その押さえ金具5bをナット5cで締め付けてベランダの柵Aなどをアンテナ取り付け治具2と押さえ金具5bとの間に挟み付ける。この構造によれば、アンテナ取り付け治具2を予め柵Aなどに取り付け、その後、ボルト3をアンテナ取り付け治具2に設けたボルト穴（取り付け部）に通し、アタッチメント4に設けたねじ穴（取り付け部）にねじ込んでアンテナ装置1をアンテナ取り付け治具2に取り付けることができ、設置が簡単になる。

【0017】

図2に示すように、予めボルト穴を設けてそのボルト穴にボルト3を通し、このボルト3をアンテナ取り付け治具2に設けたねじ穴にねじ込む構造や、図3に示すように、反射板1bの裏面にボルト3を植設し、そのボルト3をアンテナ取り付け治具2に設けたボルト穴に通し、ナット6を締めつけてアンテナ装置1をアンテナ取り付け治具2に取り付ける構造にしてもよい。なお、図1～図3に示すものは、ボルト3による締結部を3箇所以上設けるのが好ましい。

【0018】

ボルト3とナット6は、図4に示すように、アンテナ装置1の中央部に配置してもよい。アンテナ取り付け治具2とアンテナ装置1との間にアンテナ装置1の回り止め部（図示

せず) を設けて図のように 1 組のボルト・ナットで締結を行えば、アンテナ設置時の作業工数が減少する。

【0019】

図 5 は、図 1 と同様の構造のアンテナ取り付け治具 2 とアタッチメント 4 に、フック 7 とフック掛け 8 を対応して設け、そのフック 7 とフック掛け 8 を使用してアンテナ取り付け治具 2 にアンテナ装置 1 を吊り掛けるようにしたものである。アンテナ装置 1 は、外れ止めのために下側をボルト 3 などでアンテナ取り付け治具 2 に固定するのがよい。

【0020】

フック 7 とフック掛け 8 は、図 6 や図 7 に示すような形状のものでもよいし、フック 7 がアンテナ装置 1 側に、フック掛け 8 がアンテナ取り付け治具 2 側にそれぞれ設けられていてもよい。フック 7 とフック掛け 8 は、そのみで取り付けを行う場合にはアンテナ装置の動き止めのために 3 組以上設けるのが望ましい。

【0021】

図 8、図 9 は、アンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に取り付けるための取り付け手段として、プラグ 9 とソケット 10 を採用したものである。図 8 に示すものは、プラグ 9 とソケット 10 を横向きにして嵌合させ、止めねじ 11 でプラグ 9 を外れ止めするようにしている。

【0022】

また、図 9 に示すものは、プラグ 9 (図のそれは起立したねじ軸) にソケット 10 (図のそれはスリーブ) を外嵌し、設定したアンテナ装置の向きを維持するためにプラグ 9 (ねじ軸) に螺合したナット 12 でソケット 10 を回転しないように上から締め付ける構造にしている。

【0023】

図 10、図 11 は、溝嵌合方式の取り付け手段を使用してアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に取り付けるものを示している。図 10 に示すものは、アンテナ取り付け治具 2 に係合用の溝 13 となる T スロットを設け、その溝 13 に、左右に張り出させたアタッチメント 4 の両側縁の係合片を上から差し込んでアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に取り付けるようにしている。係合用の溝 13 は、蟻溝でもよい。また、その溝 13 は、図 11 に示すような非連続の溝であってもよく、さらに、アンテナの電気性能に支障がなければ、反射板 1b の両側縁を係合片にして図 11 のように直接溝 13 に係合させる構造にしてもよい。

【0024】

図 12 に示すように、アンテナ装置 1 とアンテナ取り付け治具 2 に、ピン穴を有する連結具 14、15 を対応して設け、その連結具 14、15 をピン穴に対して抜き差し自在のピン 16 で接続することもできる。

【0025】

さらに、図 13 や図 14 に示すように、種類の異なる取り付け手段を併用してアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に着脱自在に取り付けることもできる。図 13 では、連結具 14、15 とピン 16 からなる取り付け手段と留め具 19 を併用している。また、図 14 では、図 7 のフック 7 とフック掛け 8 を組み合わせた取り付け手段とバンド 17 とバンド掛け 18 を組み合わせた取り付け手段を併用している。これらは、下側の取り付け手段による取り付けを先に行ってアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 で受け支え、この状態で留め具 19 やバンド 17 を用いた上側の取り付け手段による取り付けを行うことができるので作業がし易い。

【0026】

図 15 に示すように、アンテナ装置 1 側に例えばステンレス製のバンド 17 を設け、そのバンド 17 をアンテナ設置部の柵などに巻き掛けてアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に取り付けることもできる。

【0027】

図 16 は、アンテナ取り付け治具 2 に起立したマスト 20 を含ませ、そのマスト 20 を

、アタッチメント 4 とボルト 21 で締めつける押さえ具 22 とで挟み付けてアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に取り付けできるようにしており、このような構造でも設置の容易化が図れる。

【0028】

図 1～図 16 に示したものは、アンテナ取り付け治具 2 をアンカーボルトなどを用いて壁面などに取り付けるようにしてもよく、また、この治具にフックなどを設けて壁などにかけるようにしてもよい。

【0029】

図 1～図 16 は、アンテナ装置 1 を縦向きに配置する例を示しているが、アンテナ装置 1 は横置きにして設置することもできる。図 17～図 22 に、アンテナ装置 1 を横置き状態に設置する例を示す。この横置き配置では、水切りのために反射板 1b を水平面に対して数度（水滴が自然に流れ落ちる角度）傾けるのがよい。

【0030】

図 17 は、アンテナ設置部、例えばビルの屋上などにアンテナ取り付け治具 2 をアンカーボルトなどを使用して予め設置し、そのアンテナ取り付け治具 2 に設けられているねじ穴にボルト 3 をねじ込んで反射板 1b の裏面に設けたアタッチメント 4 をアンテナ取り付け治具 2 に固定するもの、

図 18 は、アンカーボルトなどでアンテナ設置部に取り付けるアンテナ取り付け治具 2 の上面にボルト 23 を植設し、そのボルト 23 を反射板 1b に設けたボルト穴に通し、ナット 24 で反射板 1b をアンテナ取り付け治具 2 に固定するもの、

図 19 は、アンテナ設置部にアンカーボルトなどで取り付けるアンテナ取り付け治具 2 に T スロットや蟻溝などの係合用の溝 25 を設け、その溝 25 に反射板 1b の両側縁を横から差し込んでアンテナ装置 1 を固定するもの、

図 20 は、ワイヤやターンバックル付きねじ軸などの係留具 26 を用いてアンテナ装置 1 をアンテナ取り付け治具 2 に固定するもの、

図 21 は、反射板 1b の裏面にストッパ付きキャスタ 27 を設け、アンテナ装置 1 をそのストッパ付きキャスタ 27 で支えるもの、

図 22 は、反射板 1b の裏面に設けたアタッチメント 4 を重り 28 を使用して固定するものをそれぞれ示している。

【0031】

この横置き型のアンテナ装置は、アンテナ装置 1 をアンテナ設置部に直接取り付けることもでき、アンテナ取り付け治具 2 は必須の要素で無くなるが、図 17、図 18、図 19 に示すものは、アンテナ取り付け治具 2 を含めると、縦置き型と横置き型を兼用した装置にすることが可能になる。

【0032】

図 1～図 4 に示すもの、図 8、図 10 に示すもの、図 11～図 15 に示すものなども、アンカーボルトなどでアンテナ設置部に固定する図 23 に示すような門型のアンテナ取り付け治具 2 を使用して、そのアンテナ取り付け治具 2 にアンテナ装置側のアタッチメント 4 や反射板 1b を固定する構造にすれば、横置き型を兼用したものにすることができる。

【0033】

さらに、壁上に平置きできるアンテナ取り付け治具を使用して、水平にアンテナを設置することも可能である。

【図面の簡単な説明】

【0034】

【図 1】 この発明のルーネベルグアンテナ装置の一実施形態を示す側面図

【図 2】 (a) は他の実施形態の側面図、(b) は正面図

【図 3】 更に他の実施形態の側面図

【図 4】 更に他の実施形態の側面図

【図 5】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) はフックとフック掛けの係合状態を示す図

【図 6】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) はフックとフック掛けの詳細を示す斜視図

【図 7】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) はフックとフック掛けの詳細を示す斜視図

【図 8】 更に他の実施形態の側面図

【図 9】 更に他の実施形態の側面図

【図 1 0】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) は係合用の溝と係合片の斜視図

【図 1 1】 図 1 0 の係合用の溝と係合片の変形例を示す正面図

【図 1 2】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) は平面図

【図 1 3】 更に他の実施形態の側面図

【図 1 4】 更に他の実施形態の側面図

【図 1 5】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) はアンテナ装置の背面図

【図 1 6】 (a) は更に他の実施形態の側面図、(b) は平面図

【図 1 7】 横置き型のアンテナ装置の実施形態を示す側面図

【図 1 8】 横置き型のアンテナ装置の他の実施形態を示す側面図

【図 1 9】 横置き型のアンテナ装置の更に他の実施形態を示す側面図

【図 2 0】 横置き型のアンテナ装置の更に他の実施形態を示す側面図

【図 2 1】 横置き型のアンテナ装置の更に他の実施形態を示す側面図

【図 2 2】 横置き型のアンテナ装置の更に他の実施形態を示す側面図

【図 2 3】 アンテナ取り付け治具の他の例を示す側面図

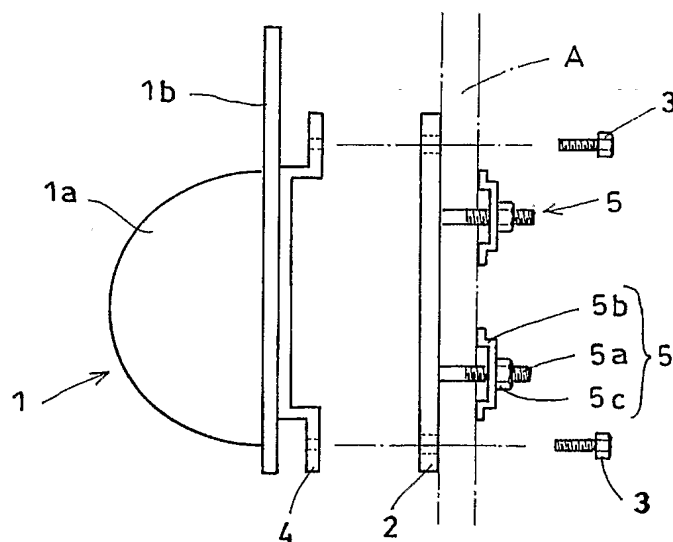
【符号の説明】

【0 0 3 5】

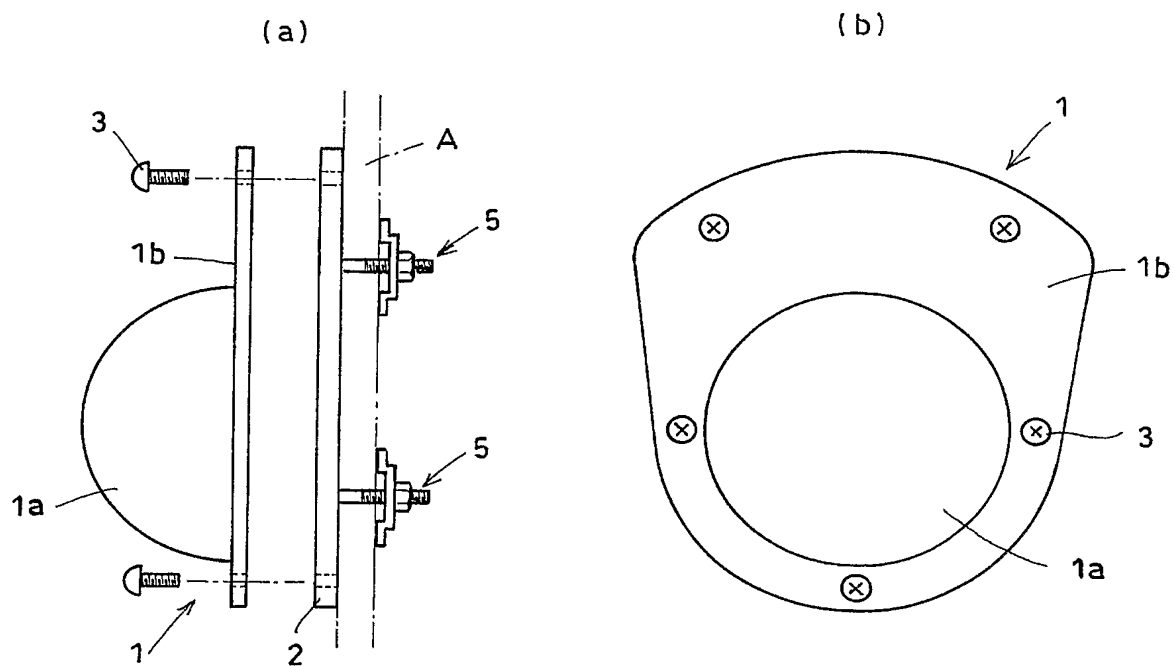
1	アンテナ装置
1 a	ルーネベルグレンズ
1 b	反射板
2	アンテナ取り付け治具
3、2 1、2 3	ボルト
4	アタッチメント
5	取り付け具
6、1 2、2 4	ナット
7	フック
8	フック掛け
9	プラグ
1 0	ソケット
1 1	止めねじ
1 3、2 5	溝
1 4、1 5	連結具
1 6	ピン
1 7	バンド
1 8	バンド掛け
1 9	留め具
2 0	マスト
2 2	押え具
2 6	係留具
2 7	ストッパ付きキャスタ
2 8	重り

【書類名】 図面

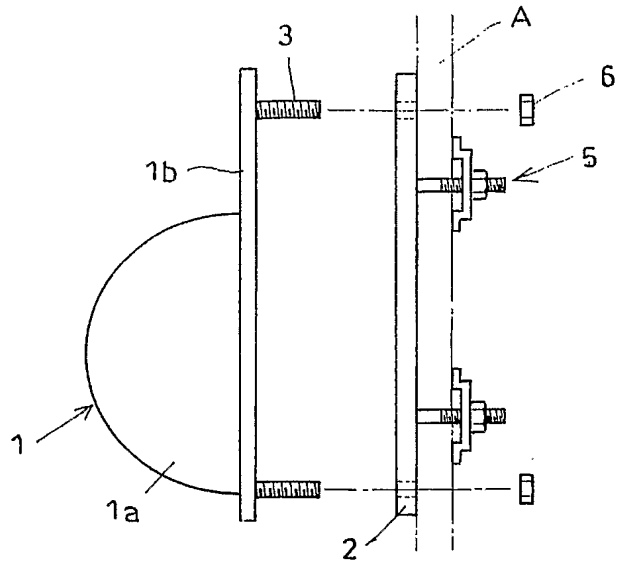
【図 1】



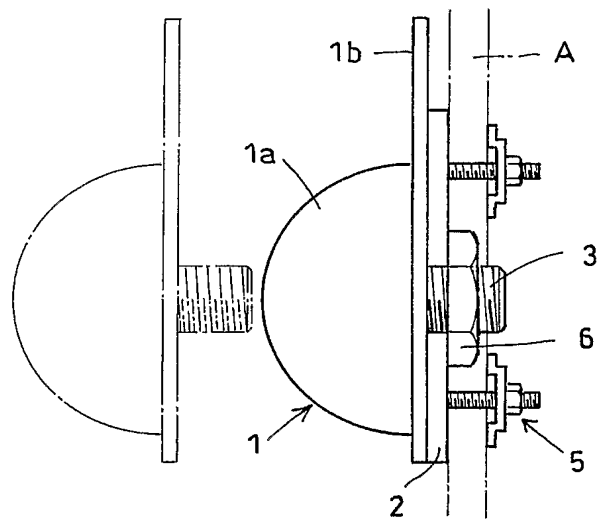
【図 2】



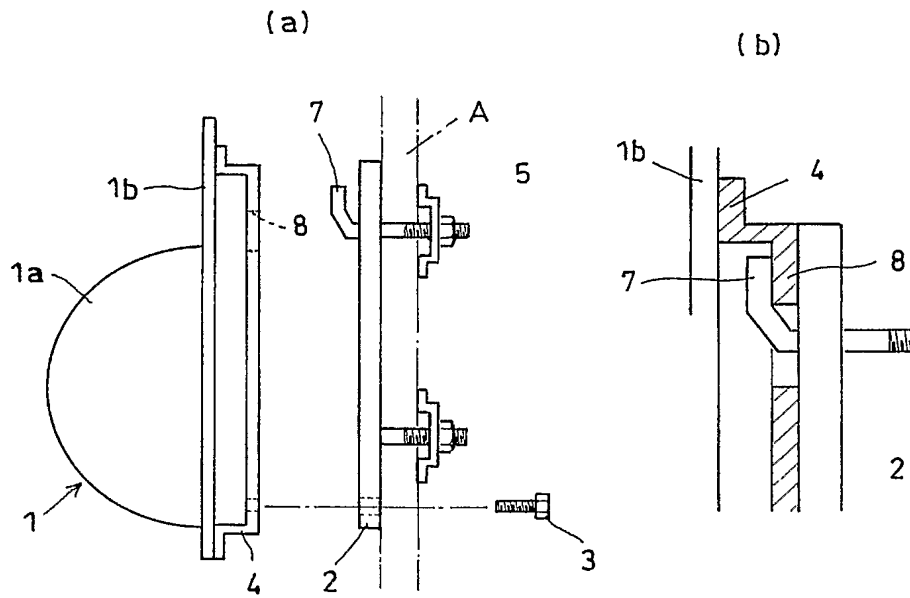
【図 3】



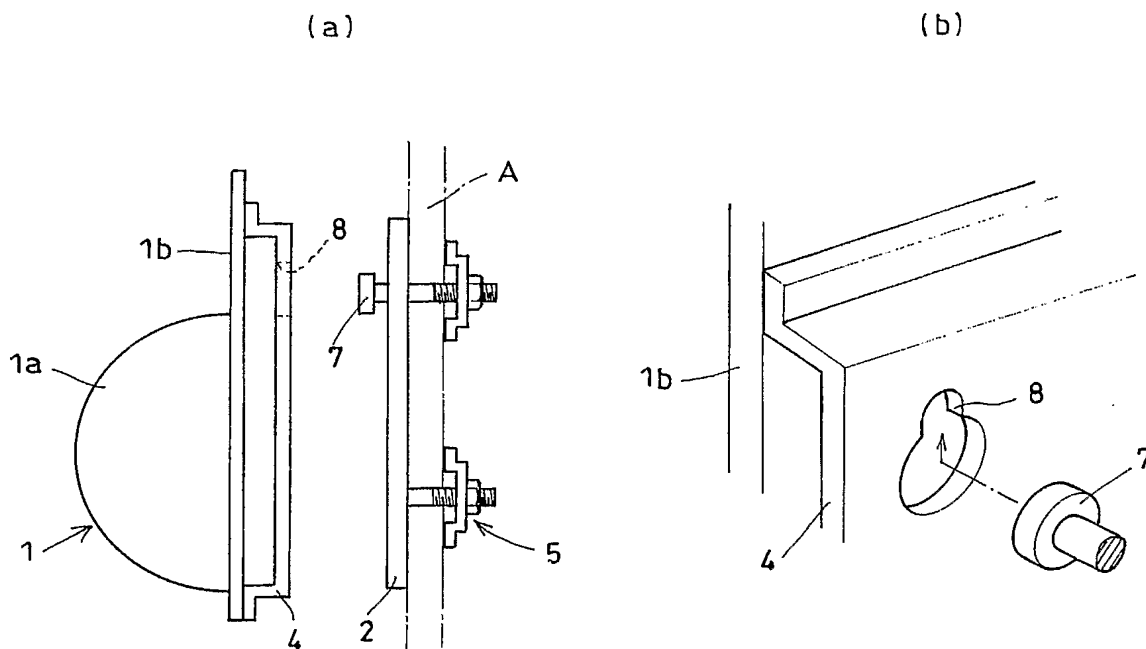
【図 4】



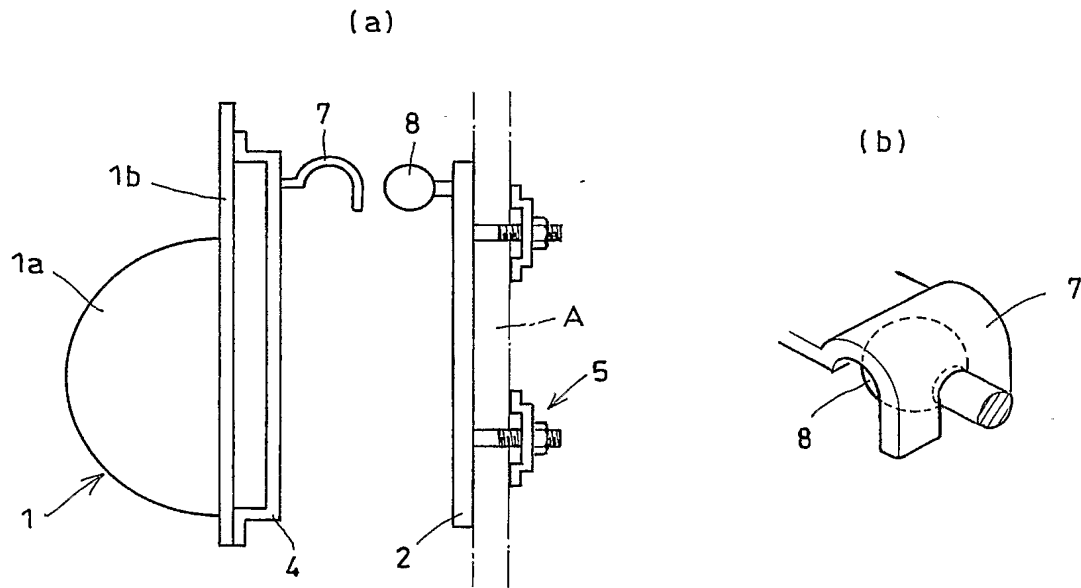
【図 5】



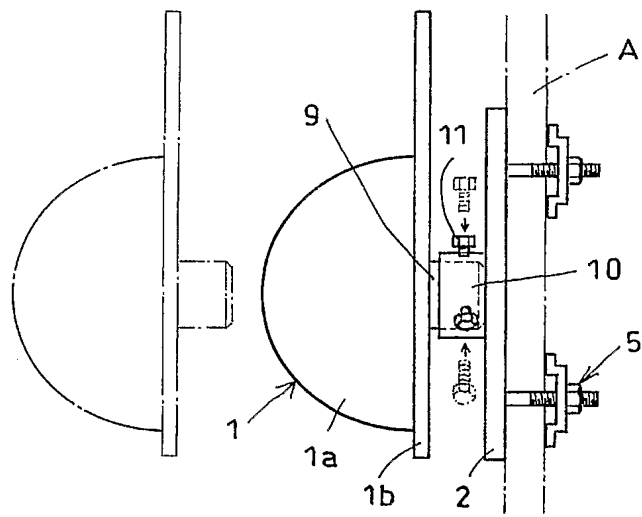
【図 6】



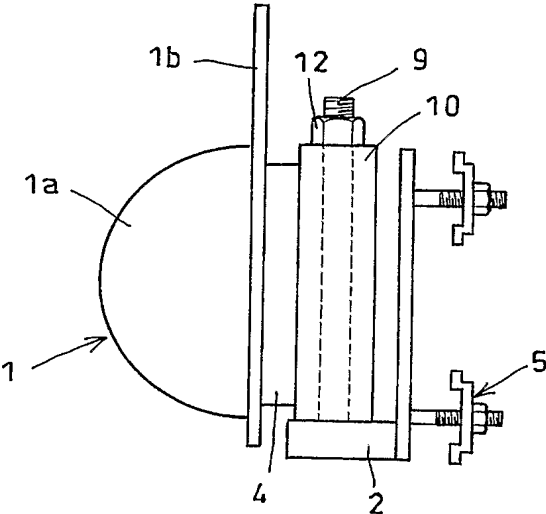
【図 7】



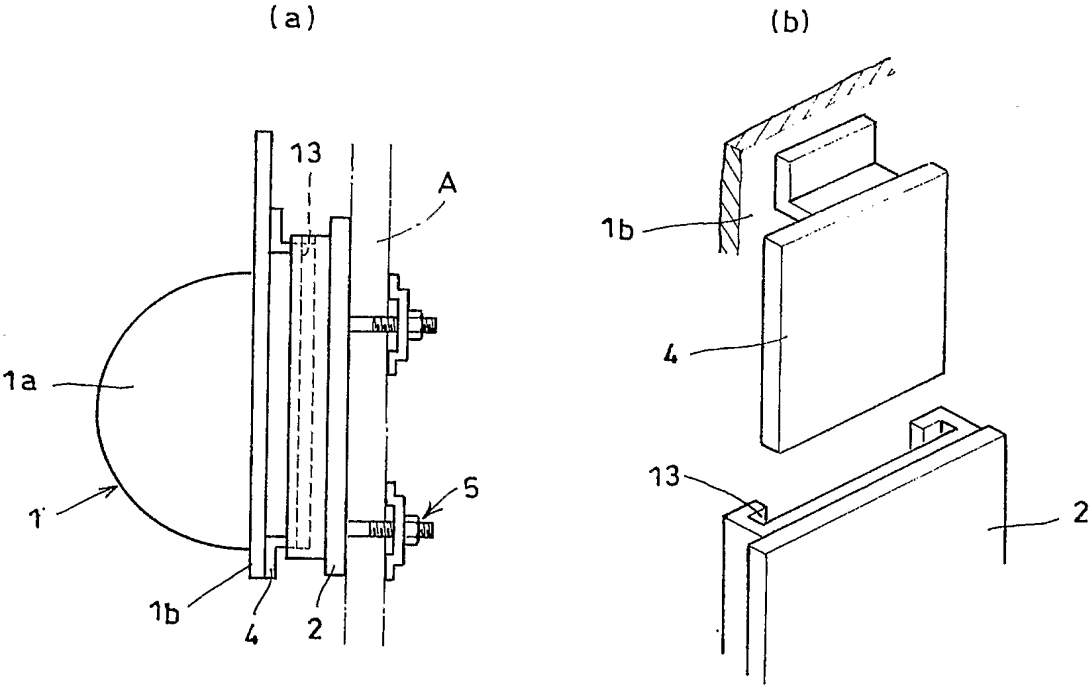
【図 8】



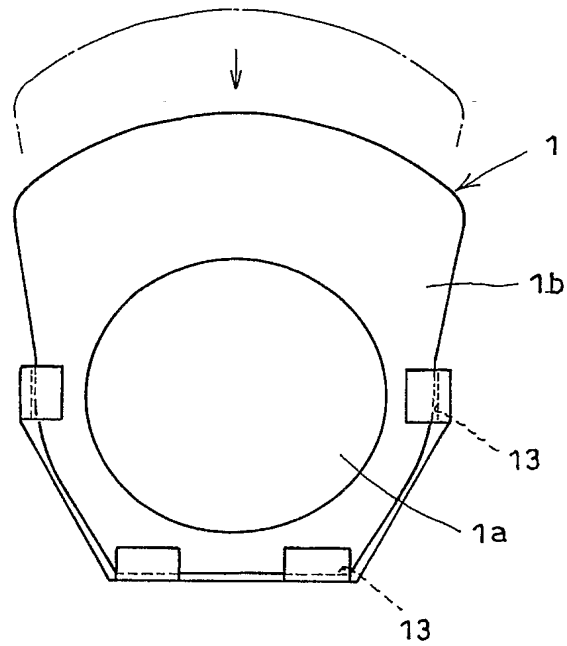
【図 9】



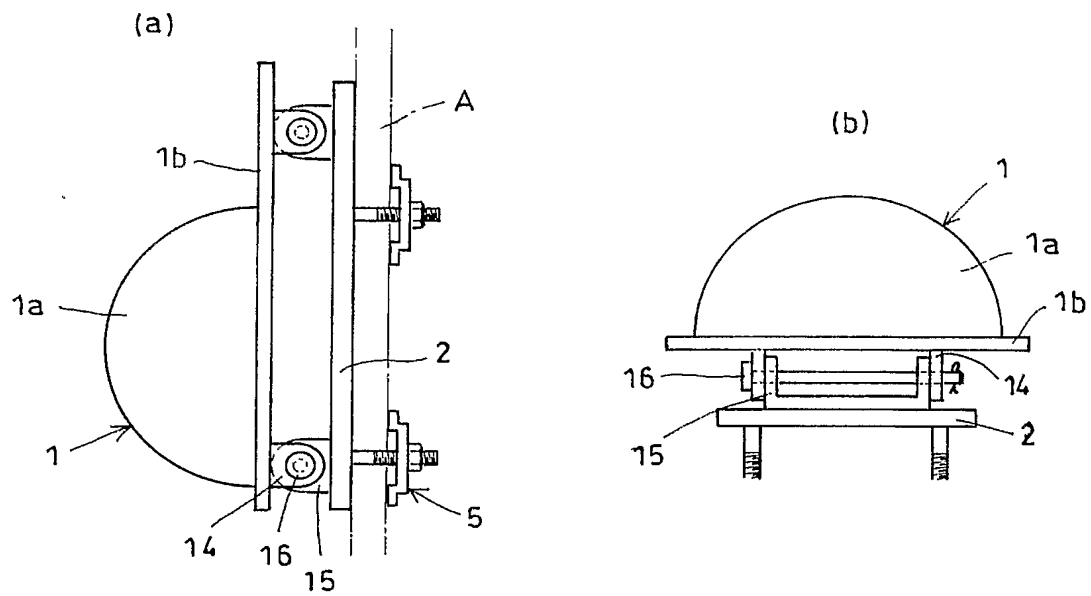
【図 10】



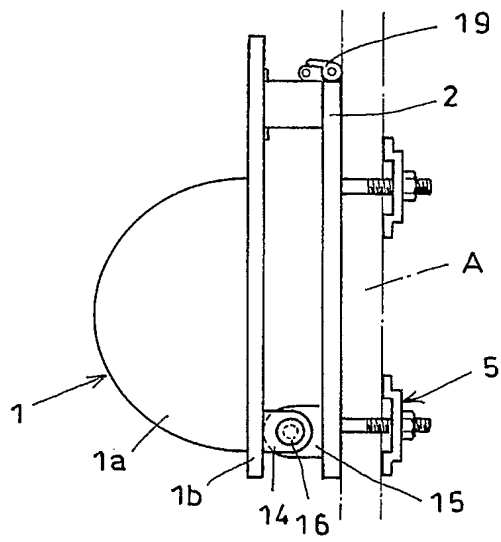
【図 1 1】



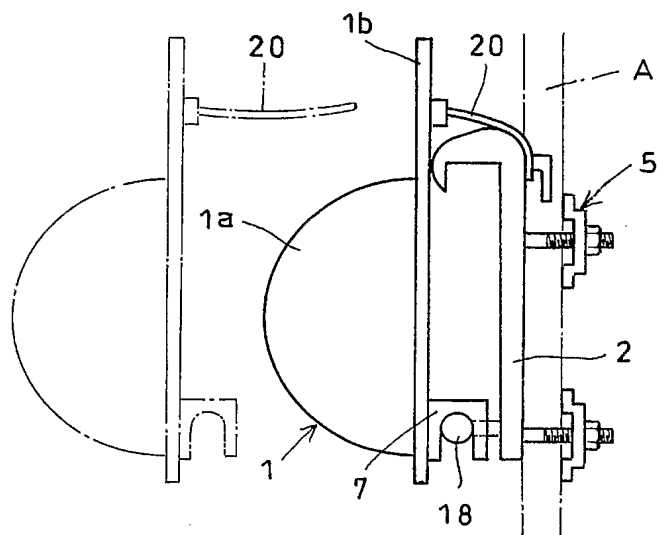
【図 1 2】



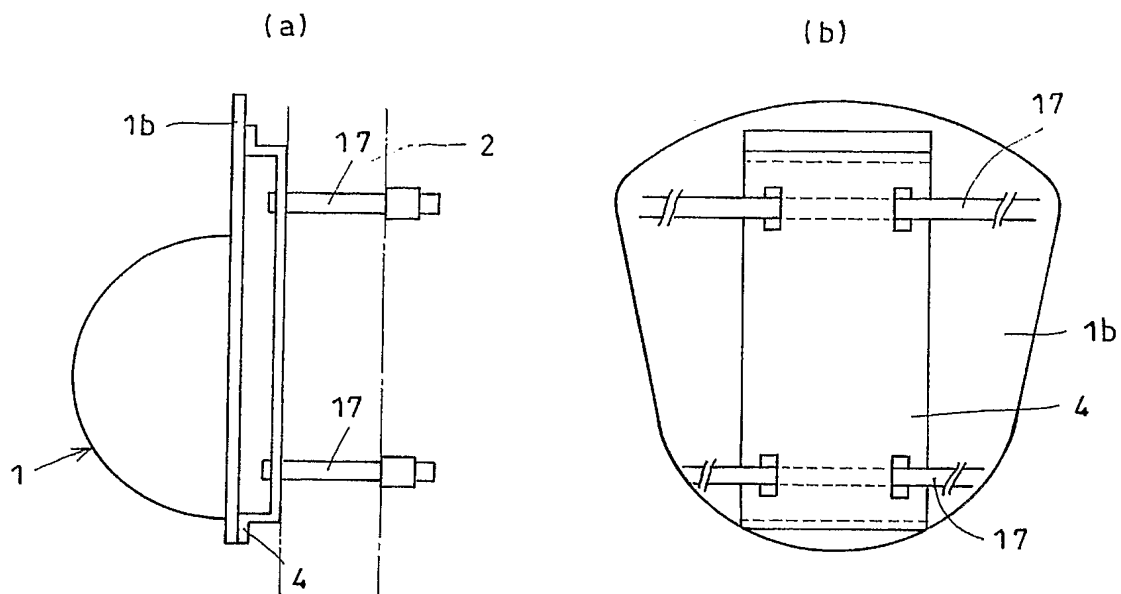
【図 13】



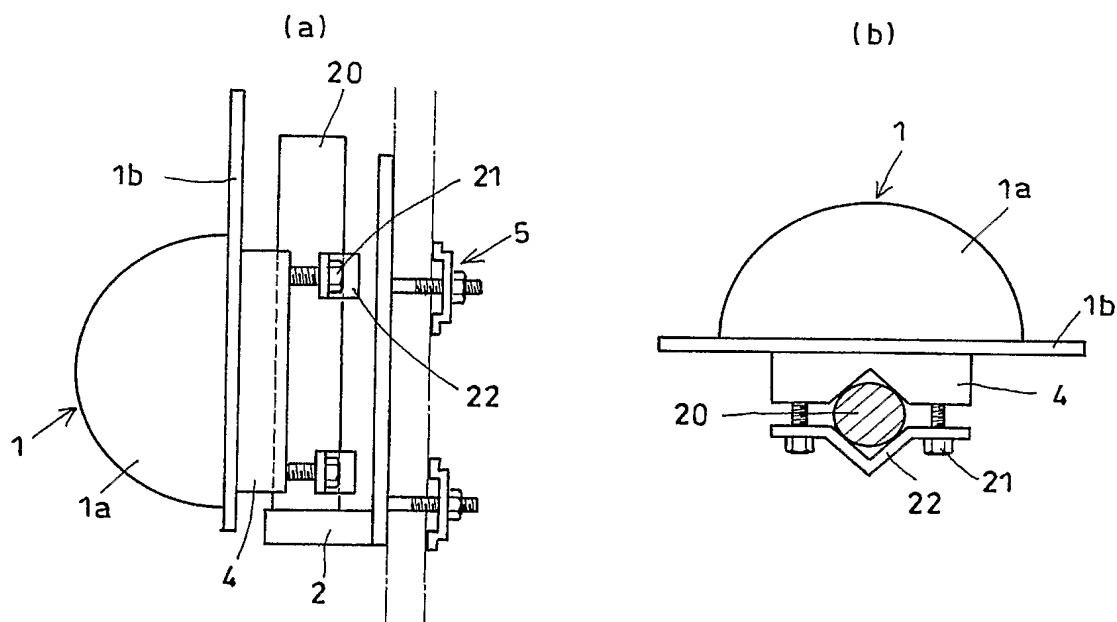
【図 14】



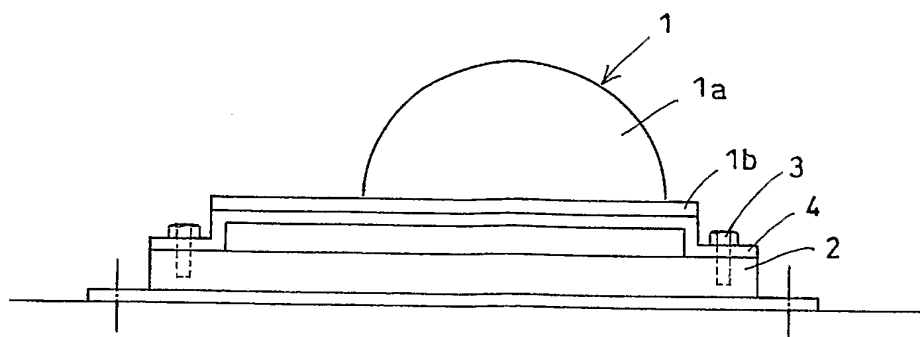
【図 15】



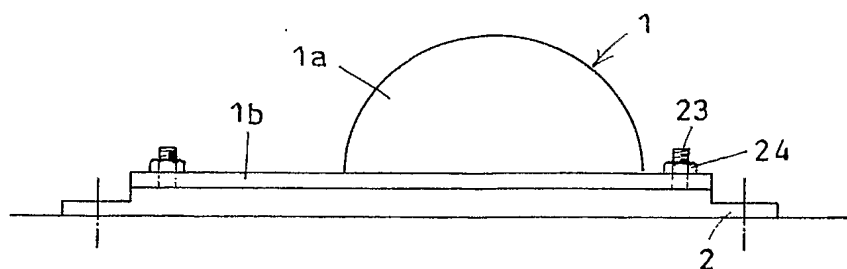
【図 16】



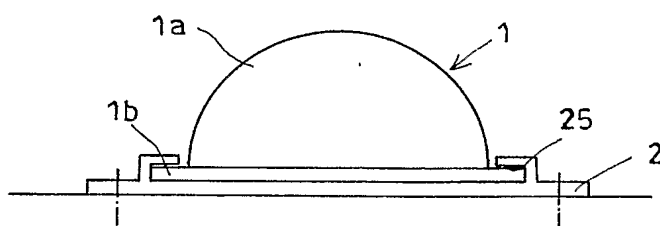
【図 17】



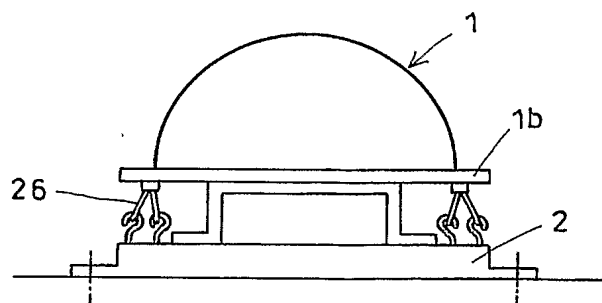
【図 18】



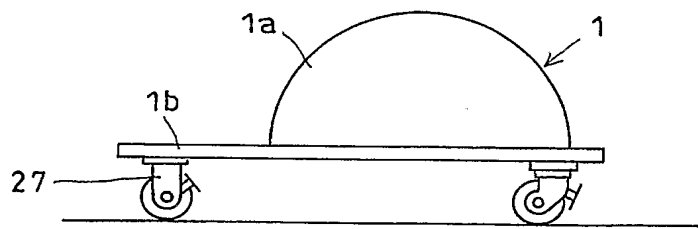
【図 19】



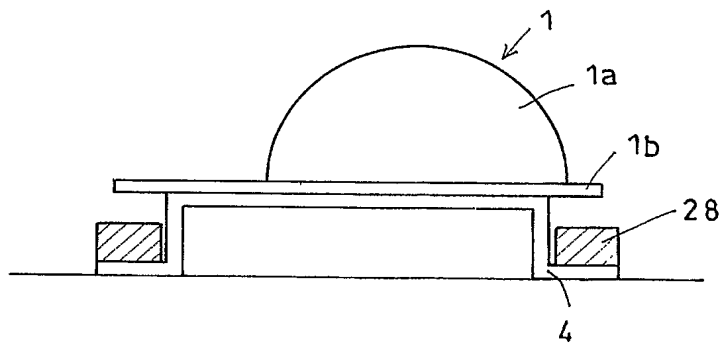
【図 20】



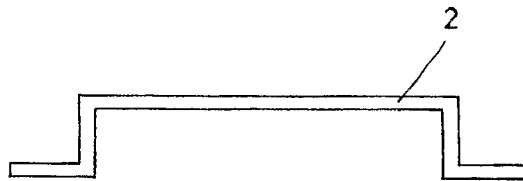
【図 2 1】



【図 2 2】



【図 2 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 半球状のルーネベルグレンズを電波の反射板と組み合わせて構成されるルーネベルグレンズアンテナ装置の設置を容易化する。

【解決手段】 アンテナ取り付け治具 2 と、このアンテナ取り付け治具 2 にアンテナ装置 1 の電波の反射板 1 b を着脱自在に取り付けるボルト 3 などの取り付け手段とを備え、前記反射板 1 b とアンテナ取り付け治具 2 に前記取り付け手段による取り付け部が予め設けられ、アンテナ取り付け治具 2 をアンテナ設置部に取り付け、このアンテナ取り付け治具 2 に前記取り付け手段で反射板 1 b を取り付けようにした。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 4 - 0 3 0 9 8 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 2 1 3 0]

1. 変更新月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府大阪市中央区北浜四丁目 5 番 3 3 号

氏 名

住友電気工業株式会社